

1. 科目名 (単位数)	産業・組織心理学 (2単位)		3. 科目番号	SPMP3331 PSMP3331						
2. 授業担当教員	大島 朗生									
4. 授業形態	講義、ディスカッション		5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	「社会心理学」の単位を修得した後に履修するのが望ましい。									
7. 講義概要	産業・組織心理学は、現場で働く人々のニーズに研究知見が直結する応用的分野である。これはすなわち、産業・組織心理学の研究知見が、組織を運営する人々や組織で働く人々、さらに社会人として大小の組織に加入することになる学生にとっても、現場の状況理解や問題解決につながる有用な知見が蓄積されているということである。本授業では、組織の中で、個人がどう知覚し、どのように行動し、態度を形成して、組織活動に参画していくのかについて理解する。さらにリーダーシップ行動や組織における意思決定や消費者行動について学ぶ。こうした産業の中で効率を上げるための心理学だけでなく、メンタルヘルスを向上させることで組織が活性化するという立場に立って、コミットメント、動機づけなどを含む職務満足、さらにはキャリア発達の見点とキャリアカウンセリングについて理解する。そして、学んだ産業・組織に関する知見に対して、どのような心理的援助ができるのかについて考究する。									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織活動や消費者行動と組織における人の行動について理解し、説明できる。</li> <li>2. 組織の中で人の成長を促すもの、障害となるものについて理解し職場における問題に対して必要な心理的支援について考究できる。</li> <li>3. 組織活動を通して、我々が成長し、幸せになるためには、どのような視点を持つことが必要なのかについて考究し、就職する組織についての基準を自分なりに創造することができる。</li> </ol>									
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前学習と事後学習を必須とする。</li> <li>2. 授業時に、学習の内容の理解を確認する小レポートを数回課す予定である。</li> </ol>									
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】山口裕幸・金井篤子編『よくわかる産業・組織心理学』ミネルヴァ書房、2007</p> <p>【参考書】加藤容子・三宅美樹編『産業・組織心理学—個人と組織の心理学的支援のために』ミネルヴァ書房、2020</p>									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織活動や消費者行動と組織における人の行動について理解し、説明できる。</li> <li>2. 組織の中で人の成長を促すもの、障害となるものについて理解し、職場における問題に対して必要な心理的支援について考究できる。</li> <li>3. 組織活動を通して、我々が成長し、幸せになるためには、どのような視点を持つことが必要なのかについて考究し、就職する組織についての基準を自分なりに創造することができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業態度と参加姿勢、および日常の学習状況</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>2. レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験</td> <td>総合点の30%</td> </tr> </table>				1. 授業態度と参加姿勢、および日常の学習状況	総合点の40%	2. レポート	総合点の30%	3. 期末試験	総合点の30%
1. 授業態度と参加姿勢、および日常の学習状況	総合点の40%									
2. レポート	総合点の30%									
3. 期末試験	総合点の30%									
12. 受講生へのメッセージ	人生の中で「働くこと」は、大きな比重を占める。有償であれ無償であれ、個人であれ組織であれ、自分らしく幸福に生きるための鍵になるものが「働くこと」であると言っても良いだろう。本講義では、「組織の中で働くことはどういうことなのか」について検討し、個人および組織を対象とした心理的支援について学ぶ。積極的な関心を持って授業に臨んでもらいたい。									
13. オフィスアワー	授業内で周知する。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	産業・組織心理学の意義と歴史	事前学習	将来、自分が組織で働くことを想定した時に、「どのような職場で働きたいか」について考えたことをノートに記述する。							
		事後学習	組織観の歴史的流れについて、ノートにまとめる。							
第2回	産業・組織心理学のテーマ	事前学習	テキスト pp. 14～23 を読む。5項目のどれに関心があるかについて考察し、理由をノートに記述する。							
		事後学習	産業・組織心理学の4つの研究テーマについて、概要をノートにまとめる。							
第3回	ワーク・モチベーション	事前学習	テキストⅡ (pp. 24～41) を読む。また、自分が取り組んでいる学内外の組織活動を振り返って、「やる気を保てた体験」について記述する。							
		事後学習	上記の体験について、授業内容を踏まえて再分析したことをノートにまとめる。							
第4回	採用と面接	事前学習	テキストⅢ (pp. 42～59) を読む。分からない言葉や特に興味を持った部分をノートに記述する。							
		事後学習	Ⅲの内容で、自分の面接に活かそうな知見について、「どのように活かしたいか」について検討し、ノートにまとめる。							
第5回	人事評価	事前学習	テキストⅣ (pp. 60～75) を読む。分からない言葉や特に興味を持った部分をノートに記述する。							
		事後学習	授業の内容を踏まえ、重要だと思われる事項について、自分なりに整理し、ノートにまとめる。							

第6回	キャリア発達① キャリア発達の理論	事前学習	テキスト pp. 76～85 を読む。コラム5のキャリア・アンカーについて、①～⑧のどのタイプに自分は当てはまりそうかについて検討する。
		事後学習	授業の内容を踏まえ、自分はホルランドの六角形モデルのパーソナリティタイプのどれに当てはまりそうかについて検討し、事前の内容と合わせてまとめる。
第7回	キャリア発達② キャリア発達への介入	事前学習	テキスト pp. 86～97 を読む。p.97 のキャリアストレスモデルを参考にして、自身のワークライフバランスについて考察した事項をノートに記述する。
		事後学習	前回と今回の課題をまとめ、自分のキャリア・パスについて再考し、1,000字程度にまとめる。
第8回	職場のコミュニケーションと人間関係① 職場集団とチームワーク	事前学習	テキスト pp. 98～109 を読む。自分が大学や部活などにおいて、集団で何かをやり遂げた経験と照らし合わせて検討し、ノートに記述する。
		事後学習	授業で学んだことを踏まえ、事前学習の内容を再検討し、新たに気付いたことをノートに記述する。
第9回	職場のコミュニケーションと人間関係② 意思決定と対人葛藤	事前学習	テキスト pp. 110～119 を読む。分からない言葉や特に興味を持った部分をノートに記述する。
		事後学習	職場に限らない日常場面で、自分が活用できそうな葛藤解決方略について考察し、検討する。
第10回	リーダーシップ	事前学習	テキストⅦ (pp. 120～139) を読む。用語の確認を行い、自分が理想とするリーダー像について考察する。
		事後学習	キーワードをノートにまとめ直す。授業で学んだことを踏まえてリーダー像について再考し、ノートに記述する。
第11回	消費者行動とマーケティング	事前学習	テキストⅧ (pp. 140～155) を読む。用語の確認を行い、自身のこれまでの経験に当てはまる理論があるかどうかについて検討し、ノートに記述する。
		事後学習	キーワードをノートにまとめ直す。自身の経験について振り返り、新しく理解したことを加えて800字程度で記述する。
第12回	仕事の能率と安全性	事前学習	テキストⅨ (pp. 156～171) を読む。分からない言葉や特に興味を持った部分をノートに記述する。
		事後学習	事前にチェックしたキーワードについて、ノートにまとめ直す。
第13回	職場のストレスとメンタルヘルス①	事前学習	テキスト pp. 172～181 を読む。「職場においてストレスな状況はなぜ起こるのか」「どのように解決できると考えるのか」について整理し、考察したことを記述する。
		事後学習	事前にチェックしたキーワードについて、ノートにまとめ直す。
第14回	職場のストレスとメンタルヘルス②	事前学習	テキスト pp. 182～192 を読む。また、前回の事前学習の検討事項についてさらに深く検討し、ノートに記述する。
		事後学習	前回と今回の学習内容を踏まえて、職場のストレスとその支援について、自分の考えをまとめる。
第15回	職場のストレスとメンタルヘルス③ まとめ：人が幸せにキャリアを重ね、個人がその発展に貢献しうる組織とは何か	事前学習	職場における問題の理解と支援の方法について、これまで学んできたことを振り返る。
		事後学習	グループディスカッションやグループの発表を踏まえて、改めて事例の要点をまとめる。